

シエ・バスティダ

未来のための金曜日 NYC コア委員会 （アメリカ）

みなさん、こんにちは。今日ここで私に話す場を与えてくださり、ありがとうございます。この重要なテーマでの議論を聞いておられるすべてのみなさんに感謝します。

私の名前はシエ・バスティダ、18歳の気候正義活動家です。気候正義の活動を始めてから1年あまり、国内や国際レベルでの組織化をおこなっています。私は9月20日のニューヨークでの気候ストライキを組織し、30万人以上が街頭で行動しました。現在はすべてのキャンペーンをオンラインで変更しておこなっています。

私自身について言うと、私はメキシコで生まれ、先住民のオトミ・トルテック族の哲学に沿って育てられました。両親からこう言われながら育ちました。「先住民の哲学は大切なのだ。私たちに大地を大切にせよ、大地は私たちを大切にしてくれているのだからと教えている。私たちは与え合わなければならない。私たちは受け取ったものを他に与えねばならないのだ」その教えが、気候正義の活動の中で私を導いてきました。

核兵器との関連で、それが何を意味するのでしょうか。人間がこのような力を持たなければならないと感じてしまうのは、核兵器は人間が持ち得る力を意味するからだと思います。それは、不健全な力です。私にとって、健全な力とは、自然が私たちに示している、すべてのものが関連しあっていることにあります。地球を見れば、あらゆる生態系がバランスを保っています。それこそ、自然の力です。私たち人間は、自然とともに持てるはずの力、前向きの力を感じることができなくなってしまいました。代わりに、自分たちを脅かし破壊する行為に出ています。化石燃料の道を進み続けることで環境に、そして核兵器使用の道を進み続けることで文明にも、深刻な影響を与えることとなります。

核兵器の環境への影響という点では、みなさんの多くが想像できるように、それはあまりにも壊滅的なものになるでしょう。たとえば福祉団体は、放射能だけでなく、病原性細菌ウイルスによる汚染で、どのような代償を支払うことになるのでしょうか？現在のコロナウイルスのパンデミック、爆発的感染は、私たちがパンデミックを回避するためには、病気の人をただちに治療するシステムを持つゆとりはないことを示しています。そして、核抑止のシナリオでは、これまで言われているように、こうした状況がさらに悪化するでしょう。下水や廃棄物処理施設はほとんど機能しなくなり、社会の安定が大きく損なわれることになるでしょう。

気候の活動の中で、私がしていることの大半は正義に重点を置いています。気候危

機で最も影響を受けるさまざまなコミュニティのための正義です。先住民コミュニティやアフリカ系など有色の人々のコミュニティ、そして私が今住んでいるニューヨーク市のブルックスのような所です。ブルックスでは、喘息にかかっている人の割合が17%にのぼり、全国平均より10%高いのです。

私にとって、気候正義はいろいろな意味での社会正義です。みなさんは化石燃料工場のようなところの近くにいるかどうかにかかわらず、それにもっとも依存しているのはどの人種の人々かということをよくわかっていると思いますが、そういうことも含めてさまざまな意味での社会正義です。核関連施設のような複合体について言えば、明らかにその影響を最も被るのは、私たちのコミュニティの人々です。社会的格差をさらに広げ、社会システムをさらに不安定にするでしょう。

気候危機によってそうしたことが社会に起こらないようにしようとするなら、私は、社会の不安定化をもたらすほかの問題についても関心を持つ必要があります。だからこそ、私は今日ここでみなさんに、若者の立場から話をすることにしたのです。若者は、現在のような危機が引き起こすかもしれない不安定を懸念しています。

さまざまな統計があります。たとえば、オゾン層が世界のほとんどで40%、北極と南極では70%失われると言われています。これは、環境の激変と同時に社会の激変を引き起こすでしょう。ここでもまた、権力とお金を持つ人々は、なんとか短期的には今の危機から逃れることができるのかもしれないかもしれません。

なぜ私が、こうしたことと気候正義を関連付けるのかという点に戻しましょう。私たちが今経済危機に直面しているのは、欲のため、多くの人々が社会システムに敏感でなくなってきたため、腐敗のためです。そしてそれは、なぜ私たちが、多くの人々が手にしたいと思っている力を示すために、大量破壊兵器を持ちたいのかということと結びついています。

今日この会議を見ている世界中の人々へ、私からメッセージをお伝えします。私たち若者は自分たちにとって、すべての人にとって、そして地球にとって、よりよい未来を望んでいます。それは、気候正義だけでなく、核戦争の可能性への不安をなくすという、両方の意味においてです。私たちが気候正義のために全力でたたかっているからこそ、そして世界に起こるかもしれないこと、今起こっていることを考えれば、私たち若者はこの議論に参加する必要があります。私たちは世界を守りたい、未来を守りたい、あなたを守りたい。そして、あなたに私たちを守ってほしいのです。この議論は今こそ、すべての世代間でおこなわれるべきものです。さまざまな問題もまた、すべての世代と一緒に議論すべきだと思います。私たちは今、転機にあり、私の世代こそ、大人の行動によって最も影響を受ける世代だからです。

以上述べたうえで、私はこれまでに発言され、そしてこれから発言されるパネリストのみなさんに感謝します。私はたくさんの方のことを学んでいます。もっと学ぶべきことがたくさんあることもわかっていますが、ここで気候正義という観点から私の考えを述べさせていただきます。